

運用報告書 (全体版)

第2期<決算日2023年7月14日>

One円建て債券ファンドⅡ 2022-03

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/債券
信託期間	2022年3月7日から2027年7月14日までです。
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行います。
主要投資対象	円建ての各種債券(海外で発行される円建ての債券を含みます。)を主要投資対象とします。
運用方法	国内外の企業が発行する円建ての債券(劣後債等を含みます。)、円建てのソブリン債(国債、国際機関債、政府関係機関ならびに地方自治体が発行する債券)を主要投資対象とします。投資する債券は、取得時においてBBB格相当以上(BBB-も含みます。)の格付けを取得している債券、もしくはそれらと同等の信用力を有すると判断される債券を投資対象とします。主として、当ファンドの信託期間終了前に満期償還や繰上償還が見込まれる債券に投資します。原則として、当ファンドが投資を行う債券は満期日または繰上償還日まで保有することで、金利変動リスクを低減し、安定した利子の獲得をめざします。ただし、信用リスク、利回り向上等の観点から、満期日前または繰上償還日前に保有債券を売却する場合があります。保有債券が信託期間中に満期償還される場合、繰上償還される場合、または償還日前に売却される場合には、信託期間終了前に満期償還や繰上償還が見込まれる別の債券に投資する場合があります。運用にあたっては、債券の発行体の信用力、バリュエーション、流動性等に基づき投資魅力度の高い銘柄を選定しながら、分散投資によりリスクの低減を図ります。当初設定時および償還準備に入った場合には、組入資産の流動性等を考慮して、円建てのソブリン債への組入比率を高める場合があります。
組入制限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使、株主割当または社債権者割当により取得したものに限り行えるものとし、その投資割合は信託財産の純資産総額の10%未満とします。外貨建資産への投資は行いません。デリバティブ取引の利用はヘッジ目的に限定します。一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人投資信託協会規則に基づき当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
分配方針	決算日(毎年7月14日。休業日の場合は翌営業日。)に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

愛称：円結びⅡ 2022-03

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「One円建て債券ファンドⅡ 2022-03」は、2023年7月14日に第2期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 騰 落	騰 落 中 率			
(設 定 日) 2022年3月7日	円 10,000	円 -		% -	% -	% -	百万円 11,424
1期 (2022年7月14日)	9,967	0	△0.3	98.9	-	-	13,473
2期 (2023年7月14日)	10,002	0	0.4	99.4	-	-	13,263

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注4) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■当期中の基準価額の推移

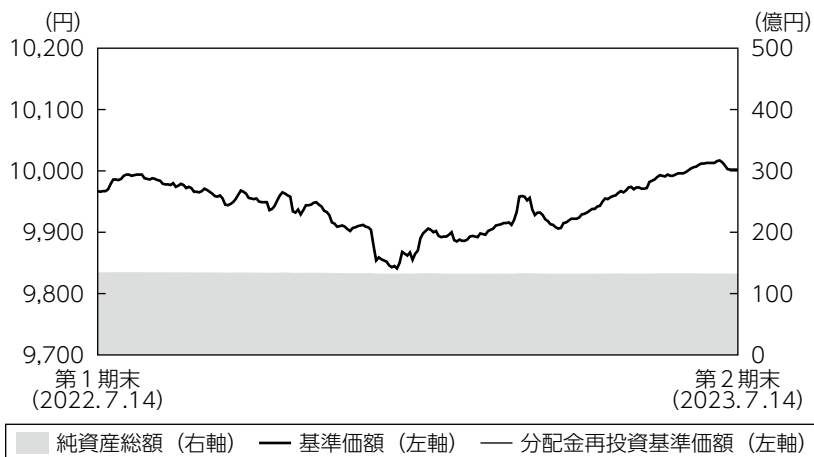
年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落	騰 落 中 率		
(期 首) 2022年7月14日	円 9,967		% -	% 98.9	% -
7 月 末	9,992	0.3		99.0	-
8 月 末	9,979	0.1		99.0	-
9 月 末	9,949	△0.2		99.0	-
10月 末	9,963	△0.0		99.0	-
11月 末	9,909	△0.6		99.0	-
12月 末	9,845	△1.2		99.0	-
2023年 1 月 末	9,893	△0.7		98.7	-
2 月 末	9,906	△0.6		98.7	-
3 月 末	9,913	△0.5		98.8	-
4 月 末	9,950	△0.2		99.0	-
5 月 末	9,986	0.2		99.2	-
6 月 末	10,013	0.5		99.4	-
(期 末) 2023年7月14日	10,002	0.4		99.4	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2022年7月15日から2023年7月14日まで）

基準価額等の推移



第2期首： 9,967円
第2期末： 10,002円
(既払分配金0円)
騰落率： 0.4%
(分配金再投資ベース)

- 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

欧米の金融政策正常化による利上げ観測や、2022年12月には日銀がサプライズ的にイールドカーブコントロール（長短金利操作）政策を修正したことから、社債のスプレッド（利回り格差）は拡大基調となり、基準価額が下落する局面もありました。しかしその後は日銀が金融政策の現状維持を決めていく中で、市場も警戒感が和らいでいき、新規に発行される社債に対する投資家需要の高まりがみられるなど、社債市場は堅調に推移し、基準価額は上昇しました。

投資環境

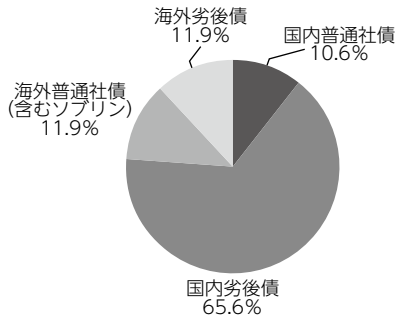
日銀の植田新総裁の金融政策運営方針が明らかになってくるにつれて、金融政策修正に対する過度な懸念が後退しつつあります。新年度以降、信用力が安定した国内社債への投資を通じた利回り確保ニーズが強く、社債の発行市場・流通市場ともに旺盛な需要から、クレジットスプレッド（利回り格差）が縮小しています。

ポートフォリオについて

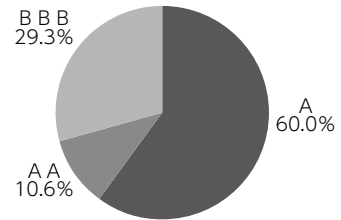
信用力を重視した銘柄選択とダウンサイドリスクを抑制する分散投資を継続しました。

【運用状況】 2023年7月14日現在

○債券種別構成比



○格付別構成比



(注1) 比率は、当ファンドが組入れている有価証券に対する評価額の割合です。

(注2) 格付は、格付機関（S & P、Moody's、JCRおよびR & I）による上位のものを採用しています。また、+・-等の符号は省略して表示しています。

分配金

当期の収益分配金につきましては基準価額水準および市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2022年7月15日 ～2023年7月14日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	84円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

信用力を重視した、慎重なポートフォリオ運営を継続する方針です。

ウクライナ情勢とロシアに対する経済制裁や財政政策・金融政策の動向、金融市場全体の落ち着き度合い等を考慮しながら、財務内容が健全で投資妙味が高い銘柄を厳選して保有いたします。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第2期		項目の概要
	(2022年7月15日 ～2023年7月14日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	47円	0.473%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,944円です。
(投信会社)	(22)	(0.220)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(22)	(0.220)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.001)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	47	0.476	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 当ファンドの信託報酬率は、約款の定めにより、以下の料率が適用されています。
 ・設定日～2022年4月20日（ポートフォリオ構築完了日から起算して3営業日）：年率0.341%（税抜0.31%）
 ・2022年4月21日～償還日：年率0.473%（税抜0.43%）

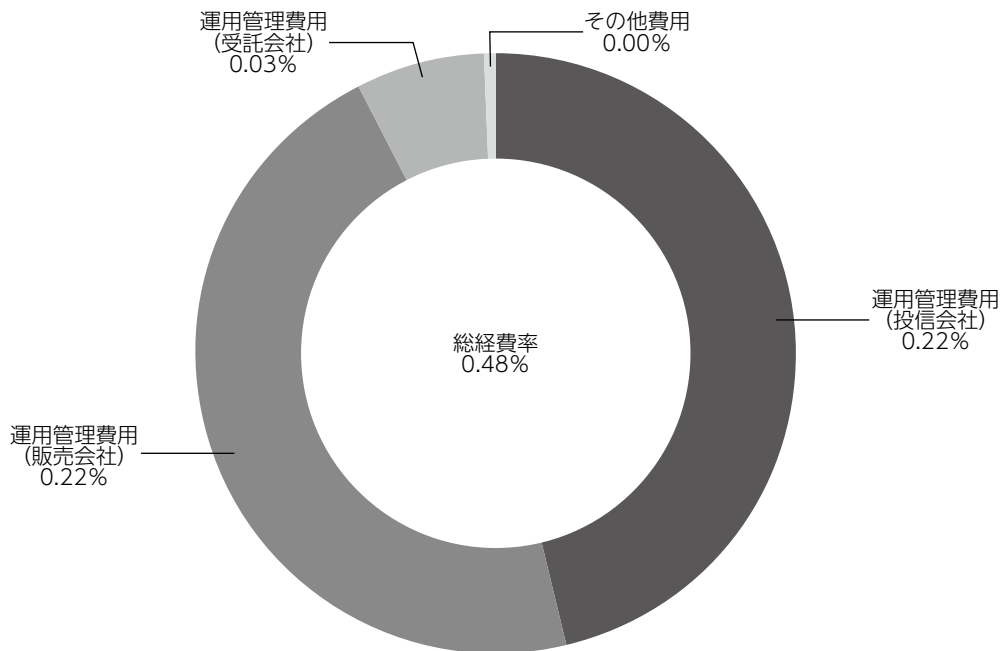
(注3) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.48%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況 (2022年7月15日から2023年7月14日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	内社債券	196,836	298,926 (-)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等 (2022年7月15日から2023年7月14日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決算期 区分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公社債	百万円 196	百万円 -	% -	百万円 298	百万円 99	% 33.1
金銭信託	0.010268	0.010268	100.0	0.010268	0.010268	100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券、みずほ信託銀行です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普 通 社 債 券	13,300,000	13,185,140	99.4	—	69.5	29.9	—
合 計	13,300,000	13,185,140	99.4	—	69.5	29.9	—

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

銘	柄	当 期		末	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
(普通社債券)					
2回	プレミアムウォーターホールディングス社債	1.2300	500,000	500,820	2025/12/11
	BNP PARIBAS 05/20/2026	0.5570	600,000	585,629	2026/05/20
2回	GMOインターネット社債	0.7900	300,000	297,189	2026/06/24
3回	GMOインターネット社債	0.7700	100,000	98,598	2026/12/16
28回	SBIホールディングス社債	1.0000	500,000	499,320	2026/12/23
	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA05/27/2027	1.2500	500,000	491,782	2027/05/27
	WESTPAC BANKING CORPORATION 06/08/27	1.2500	500,000	502,012	2027/06/08
9回	クレディ・アグリコル・エス・エー非上位円貨社債	0.5140	400,000	388,944	2027/07/06
10回	ロイズ・バンキング・グループ・ピーエルシー円貨社債	1.2470	600,000	599,514	2028/05/26
9回	BPCE SA劣後社債	1.1000	600,000	577,770	2031/12/16
4回A号	日本生命保険 劣後社債	0.9100	100,000	99,120	2046/11/22
3回	MS&AD 劣後社債	1.1800	300,000	301,950	2047/01/31
1回	アフラック生命保険株式会社 劣後社債	0.9630	600,000	600,840	2049/04/16
1回	大樹生命期限前償還条項付劣後社債	0.7400	200,000	197,900	2051/07/02
1回	ニプロ 劣後社債	1.6000	600,000	595,548	2055/09/28
4回	ソフトバンクグループ期限前償還条項付劣後社債	3.0000	600,000	587,460	2056/02/04
1回	商船三井劣後社債	1.6000	600,000	605,940	2056/04/27
2回	森ビル劣後社債	1.1700	200,000	198,668	2056/10/19
3回	損害保険ジャパン日本興亜期限前償還条項付劣後社債	1.0600	500,000	499,950	2077/04/26
2回	東京センチュリー期限前償還条項付劣後社債	1.3800	600,000	605,280	2080/07/30
1回	丸紅期限前償還条項付劣後社債	0.8200	500,000	494,390	2081/03/04
3回	オリックス劣後社債	0.8300	200,000	198,296	2081/03/16
1回	ENEOS HD劣後社債	0.7000	600,000	594,000	2081/06/15
1回	三菱HCキャピタル劣後社債	0.6300	600,000	587,916	2081/09/27
1回	パナソニック劣後社債	0.7400	600,000	591,654	2081/10/14
1回	関西電力期限前償還条項付劣後社債	0.8960	600,000	595,920	2082/03/20
1回	大和証券G本社永久劣後社債	1.2000	600,000	596,520	9999-99-99
3回	野村ホールディングス永久劣後社債（任意償還条項付）	1.3000	600,000	592,698	9999-99-99
3回A号	富国生命保険利払繰延条項付永久社債（劣後特約付）	1.0200	100,000	99,510	9999-99-99
合 計		—	13,300,000	13,185,140	—

(注) 償還年月日が9999-99-99とあるのは、永久債（繰上償還条項付）です。

■投資信託財産の構成

2023年7月14日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	13,185,140	99.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	108,837	0.8
投 資 信 託 財 産 総 額	13,293,977	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年7月14日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	13,293,977,919円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	74,075,324
公 社 債(評価額)	13,185,140,813
未 収 利 息	34,761,782
(B) 負 債	30,896,573
未 払 信 託 報 酬	30,787,828
そ の 他 未 払 費 用	108,745
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	13,263,081,346
元 本	13,260,881,567
次 期 繰 越 損 益 金	2,199,779
(D) 受 益 権 総 口 数	13,260,881,567口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C/D)	10,002円

(注) 期首における元本額は13,517,575,362円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は256,693,795円です。

■損益の状況

当期 自2022年7月15日 至2023年7月14日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	150,607,632円
受 取 利 息	150,243,964
そ の 他 収 益 金	415,157
支 払 利 息	△51,489
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△41,349,505
売 買 損 益	12,740,906
売 買 損 益	△54,090,411
(C) 信 託 報 酬 等	△63,471,796
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	45,786,331
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△44,521,320
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	934,768
(配 当 等 相 当 額)	(△250)
(売 買 損 益 相 当 額)	(935,018)
(G) 合 計(D+E+F)	2,199,779
次 期 繰 越 損 益 金(G)	2,199,779
追 加 信 託 差 損 益 金	934,768
(配 当 等 相 当 額)	(△250)
(売 買 損 益 相 当 額)	(935,018)
分 配 準 備 積 立 金	111,391,848
繰 越 損 益 金	△110,126,837

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	87,135,836円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収 益 調 整 金	0
(d) 分 配 準 備 積 立 金	24,256,012
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	111,391,848
(f) 1 万 口 当 たり 当 期 分 配 対 象 額	84.00
(g) 分 配 金	0
(h) 1 万 口 当 たり 分 配 金	0

■分配金のお知らせ

当期の収益分配金につきましては基準価額水準および市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきます。